

平成 21 年 6 月 17 日
大阪ウォーターフロント開発(株)広報チーム
〒552-0022 大阪市港区海岸通 1
TEL06-6576-5529 FAX06-6576-5551
<http://www.kaiyukan.com/>
(担当：松原、齋部、西村、田井、鈴木)

海遊館のペンギンたちはベビーラッシュ

第一弾 イワトビペンギンの赤ちゃんがデビュー！

人工飼育の様子を間近でご覧いただけます

大阪市港区の海遊館では、平成 21 年 6 月 19 日(金)から、海遊館エントランスビル 4 階の「海遊館ギャラリー」で開催中の特別企画展、「発見！体験！ふれあいライブ館」(平成 21 年 3 月 5 日資料提供済み)の「ペンギンライブ」コーナーにて、6 月 9 日(火)に生まれたイワトビペンギンの赤ちゃん 1 羽(体長約 15cm)の展示をスタートします。赤ちゃんペンギンのかわいい姿や、飼育係員が親鳥に代わって人工飼育を行う様子を間近でご覧いただけます。

海遊館でイワトビペンギンの人工飼育の様子を公開するのは、昨年に引き続き 2 回目です。

今回ご覧いただける赤ちゃんは、海遊館のバックヤードで飼育中のイワトビペンギンが、5 月 3 日(日・祝)に産んだ卵から生まれました。6 月 8 日(月)に嘴打ち^{はしうち}を確認し、産卵から 37 日目にあたる 9 日(火)13 時 00 分に無事赤ちゃんが誕生しました。イワトビペンギンの繁殖は大変難しく、今回、親鳥が誤ってヒナを踏んでしまうような行動が見られたため、ヒナの安全を最優先し、昨年に引き続き人工飼育することにしました。

現在、赤ちゃんは順調に育っており、温度や湿度が調整できる保育器に赤ちゃんを入れ、魚のすり身の餌を与えるなどの人工飼育を行っています。赤ちゃんが順調に成長していることから、来館者に間近で可愛い姿をご覧いただくことにしました。

現在、全身に綿羽^{めんう}と呼ばれる白黒のモコモコの羽が生えていますが、生後約 2 ヶ月が経過すると綿羽が抜け落ちて親と同じ模様になり、自分で餌を食べ始めます。イワトビペンギンの特徴である黄色い冠羽^{かんう}はまだ生えていません。



今回誕生したイワトビペンギン



赤ちゃんへの給餌の様子

また「南極大陸」水槽では、ジェンツーペンギン 3 羽とオウサマペンギン 1 羽も産卵しており、それぞれの親鳥が抱卵している様子をご覧ください。順調に行けば、ジェンツーペンギンは 7 月中旬から順次、オウサマペンギンは 7 月下旬にふ化する予定です。海遊館ではまさにペンギンのベビーラッシュです。

- 1 ^{はしう} 嘴打ち：ヒナが卵の内側から卵の殻に穴をあけること

海遊館、天保山マーケットプレース、なにわ食いしんぼ横丁、天保山大観覧車は、平成 21 年 6 月 24 日（水）、25 日（木）は、それぞれ休業させていただきます。（取材についてもお受けできませんのでご了承ください。）

1.【イワトビペンギンの赤ちゃんの展示について】

- 公開日 平成 21 年 6 月 19 日（金）から
（6 月 24 日（水）、25 日（木）は休館日です）
生き物の状況により展示の変更または中止する場合があります。
- 公開場所 海遊館エントランスビル 4 階 海遊館ギャラリー
『発見！体験！ふれあいライブ館「ペンギンライブ」コーナー』

- 内 容 イワトビペンギンの赤ちゃん（ヒナ）1 羽を、温度と湿度の調整可能な保育器に入れて育てるなど、人工飼育の様子をご覧ください。一日 4 回行う給餌の際には、飼育係員がヒナの親代わりとなり、ヒナに餌を与えています。ヒナは飼育係員が近づくと元気に鳴き声を上げます。



保育器の中の赤ちゃんペンギン

ヒナを安全に飼育するため、ストロボ撮影およびライトの使用はお断りさせていただきます。

ヒナの成長に伴い、給餌回数は変更になります。

- ヒナの大きさ 体長約 15 cm、体重 170g（6 月 16 日現在）
- 産卵日 平成 21 年 5 月 3 日（日・祝）
卵の長径 75.7mm、短径 52.1mm、重量 114g
- 嘴打ち日 6 月 8 日（月）
- 孵化日時 6 月 9 日（火）13 時 00 分（産卵後 37 日目） 産卵当日は 0 日で計算

2.【海遊館で飼育しているペンギンについて】

イワトビペンギン 英名：Rockhopper penguin 学名：*Eudyptes chrysocome*

ペンギン科。成長すると体長約 50cm になる。岩場をピョンピョンと飛び跳ねながら移動することからこの名前が付いた。目の上にある黄色い冠羽が特徴。沿岸の岩場の小石や雑草で巣を作り、メスは 1 回の繁殖で通常 2 個の卵を産む。ペンギンの中では気性がやや激しい。小魚やオキアミなどを食べる。

オウサマペンギン 英名King penguin 学名*Aptenodytes patagonicus*

ペンギン科。世界にいる 18 種のペンギンの中では、エンペラーペンギンに次いで 2 番目に大きく、成長すると体長約 90 cm になる。南極大陸周辺の島々に生息。海岸近くのゆるやかな斜面に繁殖地を持ち、メスは 1 回の繁殖で 1 個の卵を産む。巣は作らず、足の上に卵を置き、ダブダブの腹部の皮をすっぽりかぶせて抱卵する。小魚、オキアミ、イカなどを食べる。

ジェンツーペンギン 英名Gentoo penguin 学名*Pygoscelis papua*

ペンギン科。頭頂部にある白い斑紋が特徴。成長すると体長約 75 cm になる。南極半島や南極周辺の島々に生息。小高い丘に雑草や小枝、小石で浅いクレーター状の巣を作り、メスは 1 回の繁殖で通常 2 個の卵を産む。小魚、オキアミ、イカなどを食べる。

アデリーペンギン 英名：Adelie penguin 学名：*Pygoscelis adeliae*

ペンギン科。成長すると体長約 70 cm になる。頭部から背部にかけて黒く、目の周りがある白い輪（アイリング）が特徴。メスはオスに比べ、一回り小さいことが多い。南極大陸とその周辺の島々に生息。自然界での繁殖時期は 10～11 月で、丸い小石で周辺を囲んだ浅いクレーター状の巣を作り、メスは 1 回の繁殖で通常 2 個の卵を産む。小魚、オキアミなどを食べる。